

「鳥取市景観計画（改定案）」市民政策コメントに対する市の考え方

- ・実施期間：令和7年12月12日（金）から令和8年1月5日（月）まで
- ・意見応募者数：4名、意見総数：14件

| NO. | 区分 | 意見要旨 | 市の考え方 |
|-----|------------------|---|---|
| 1 | 住宅地景観の維持 | 道路沿いや公共の場から見える民家において、外壁の黒い染み、破れた障子、ガラス窓の汚れや割れ、コンクリートブロック塀の劣化や汚れ、また家が壊れたまま放置されている状態が見受けられます。景観ガイドラインに外観管理項目を追加し、所有者への努力義務として位置づけること、啓発活動による周知、修繕に関する支援制度の検討をお願いいたします。 | 住宅については、所有者等の責務により適切な維持管理が行われるべきものと考えます。空き家空き地については、所有者等に適切な維持・管理の必要性を啓発することを景観計画に定め意識の醸成を図っていきます。また、景観行政の中で修繕に関する支援制度を設けることは現状困難と考えます。 |
| 2 | 商業施設の景観配慮 | 一部の大型店舗やゲームセンターにおいて、真っ赤な外壁など過度に派手な原色系の色彩が大面積に使用されており、周辺の落ち着いた景観との調和を損なっています。 新規出店や大規模改修時に周辺環境に配慮した色彩基準を設けることを提案いたします。 | 新規の出店や大規模改修については、一定規模を超える建築物の新築、外観の変更、修繕等について届出を義務付け、色彩の基準を設け景観誘導を図っています。また、届出対象規模に満たない建築物については、色彩制限の対象外です。 |
| 3 | 標識、屋外広告物等の景観配慮 | 「逆走です」などの警告標識のトゲトゲした鋭角的なデザインは、視覚的に刺激が強く不快で、景観の柔らかさを損なっています。安全性を保ちながらも、より穏やかなデザインの採用を検討していただけないでしょうか。 | 注意看板等は、事故防止のためにドライバーへの強い注意喚起と高い視認性が求められるものと考え、デザインについては景観計画の制限の対象外となります。 |
| 4 | | 生肉や焼肉などの動物性食品を扱う店舗の看板は、動物愛護の観点から不快に感じる市民もいます。多様な価値観に配慮した景観づくりとして、看板の表現方法への配慮をお願いいたします。 | 景観計画は工作物等の意匠・形態等の制限を定めるものであり、広告物の表現内容については制限の対象外となります。 |
| 5 | 鳥取駅周辺・中心市街地の景観形成 | 街並みや駅前の街道について、デザインが統一されない方が賑やかな感じが出て飽きずに楽しみながら歩くことができると思います。また、特に駅前に関しては、統一感がないことでむしろ行うイベントや店舗に幅が出て、多くの人が訪れる機会が多くなるのではないかと思います。 景観が重視される場所では統一感があることでより魅力的に見えると思いますが、人が集まる賑やかな場所では統一感をあえて出さないこともその場所ならではの魅力になると思います。 | 鳥取市景観計画では地域特性を活かした景観誘導を行っており、鳥取駅周辺については、魅力的な賑わいを創出する区域としてふさわしい景観の形成を目指し、景観形成重点区域の指定や景観形成の方針等を検討していきます。 |
| 6 | | 商業地の魅力低下中心市街地のにぎわいを創出しつつ、歴史的・自然的魅力ある景観を向上させる。 | |
| 7 | | 人が集まる場所なので外見を良くして写真を撮りたくなるような駅にする | |

| NO. | 区分 | 意見要旨 | 市の考え方 |
|-----|------------|---|--|
| 8 | 景観基盤の整備 | 久松山は季節によっていろいろな景色が広がっていて頂上からの景色は鳥取市が見渡す事ができていいと思うけど頂上に行くまでの道が危ないところや急すぎてなかなか行くことができないのできれいに整備していろんな人が行くことができるようにしてほしい。 | ご意見として承ります。 |
| 9 | | 虫取りや川遊びができるほどに生き物を増やしたいから道路、公園、川などの自然を増やす | ご意見として承ります。 |
| 10 | | 鳥取市全体を見ての、電柱や電線が多いところ京都の景観計画で無電柱化があるように、鳥取市もそれを参考にしながらコンセプトである自然という景観を大事にしたほうが良いと思った。電柱や電線が多いから自然と建物がしっかり馴染むように無電柱化とか電線を少なくしたほうが良いと思った。 | 無電柱化については、「街なみ環境整備事業」により市道山の手通りの無電柱化を実施しています。また、令和6年度策定した「鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン」において市道東町9号線の電線地中化を計画するなど、景観の形成に今後も取り組みます。 |
| 11 | 眺望景観の保全・活用 | 鳥取市の久松山を映えスポットにすることで鳥取にもっと活気が出ると思った。 | 地域の美しい景観や特徴的な眺望を楽しめる場所として、久松山を視対象とした「主要な展望地」を選定し、これを展望地マップとして本市公式HPに公開することで、久松山の魅力ある景観の発信に取り組んでいきます。 |
| 12 | | 市役所跡地から、復元後の三階櫓はみえないのか。 | 現在の建築物等の状況より、きなんせ広場や市役所旧本庁舎跡地（TORIKOIPARK）から復元される三階櫓を眺望することは困難であると想定されますが、今後は「眺望景観形成の方針」に基づき、久松山及び鳥取城跡周辺の眺望景観への影響が最小限となるよう景観誘導を図ることとしています。 |
| 13 | | 智頭橋きなんせ広場から、復元後の三階櫓が見えるようにしてほしい。 | |
| 14 | | 雁金山の平和の塔を対象としていないのはなぜか。 | 眺望景観形成の方針では、遠景・近景いずれも特徴的なランドマークとなっていること、また鳥取の歴史景観の象徴となっていることから、久松山と鳥取城跡周辺を視対象に設定しています。この方針による景観誘導により、鳥取市平和祈念塔を含む久松山山系の景観保全も図られると考えます。 |